



## ティッシュペーパーは何からできているの

### 木材パルプからできている

このごろ、どの家に行っても、ティッシュペーパーがおいてありますね。鼻紙になったり、タオルの代わりに手をふいたり、いろいろな使われています。

このティッシュペーパーは、原料に木材パルプを使っています。このパルプに、やわらかさをもたせるためにしわ(ドライクレープという)をほどこし、2枚重ねにして、連続して取り出せるようにしてあります。

このティッシュペーパーには、水にぬれてもある程度の強さが保てるように、薬品を加えています。そうすると、紙の繊維が定着し、水にぬれても破れにくく、また、水にほぐれにくくなるのです。ですから、ティッシュペーパーをトイレに流すと、水にとけないので、トイレがつまってしまいます。気をつけましょう。

### 水にほぐれやすいトイレットペーパー

毎日、トイレで使っているトイレットペーパーは、ティッシュペーパーとちがって、水にほぐれやすいという特長をもっています。トイレットペーパーの繊維が、水中で、ばらばらにほぐれるので、水にとけたようにみえるのです。

トイレットペーパーも、原料に木材パルプを使いますが、リサイクルで回収された古紙を使うものもあります。(監修・青木 国夫)

